

## 社 報



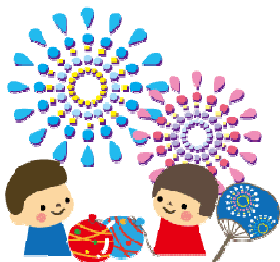
## 継続は力なり

## 題13期 決算

お客様・取引業者の皆様・社員の皆様など、多くの関係者のおかげを持ちまして、第13期の決算を終えました。

お客様で、4期連続して黒字となり、自己資本比率も65%となり、優良企業の部類に入ってきたのではないかと思います。しかし、この程度のことで満足してはいけません。世の中には、超優良企業として、名高い企業が少なくありません。

当社もさらに、修練を積重ねて、超優良企業として名を連ねたいものです。現状に満足などはありません。さらに上を目指していくのです。



継続は力なり、と言います。企業の存続しかり、趣味や芸事もしかり、世の中には続けることが意義深いことがたくさんあります。

人間、つらいことは続きにくく、楽な道に逃げたくなる心を持ち合わせています。そのことは誰でもが実感しているからこそ、継続は力なり、と言われるのでしょう。

企業においては、企業の存続が一番優先されるべき命題です。存続が不可能ということは倒産を意味しますから、何としても企業生命は継続しなければなりません。

しかしながら、企業は存続する為に、作られたものではありません。様々な企業はモノを作ったり、サービスを提供することによって、社会に貢献して継続の意義を創りだしているのです。企業は存続が目的になった時から倒産への道が始まると言われていきます。特に、老舗と呼ばれるような、歴史の長い企業は、存続が目的になりやすいことから、「老舗がつぶれる」と言われます。

勘違いしてはいけないのは、長年

やってきたこと、これから長年やっていけることは、全然意味が違うからです。過去の栄光の延長線上に未来など、絶対にありません。このことは肝に命じる必要があります。歴史と経済の絶対ルールであると思います。

昔の中国のことわざにもあります。「必生は必死に通じ、必死は必生に通ず。」

自らの存在意義を感じて、必死に頑張れば、世間の評価も得られるでしょうし、助けてくれる人も現れるでしょう。逆に自分の生きる道だけを、訴える者には、社会の役立たずの烙印が貼られてしまいます。

継続は力なり、この言葉の裏には安易な継続など意味がないことを、知らねばなりません。

つらく、厳しいこと、これを継続するからこそ、力になるのであって、楽なことを継続しては力になるどころか、それは弊害のみを生み、必死への道を突き進むことになります。

つらく、厳しいことを継続し、他社から一目置かれるようになるのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## セミの声を聞くと

セミの声を聞くと、本格的な夏の始まりです。今年は、7月になったばかりですのに、早くもセミの鳴き声が聞こえてきました。猛暑の前兆でしょうか。

毎年、夏には熱中症について、注意喚起を行っています。現場の人も、また熱中症かと思いがちでしょうが、夏の労働環境はとて過酷だからです。

気温が35度を超える日に、屋外で直射日光の元で働くということは、一歩間違えれば、死に直結する可能性があるということです。

現場で気分が悪くなった時には、ためらうことなく、すぐ病院で治療を受けてください。

今月も事故がありませんように。(拝)

## 2016年 安全成績

■現場災害 H28.1.1-H28.7.4	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 H28.1.1-H28.7.4	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0